

平成23年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	特定外来生物防除等推進事業	担当部局庁	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年	平成18年度	担当課室	外来生物対策室			室長 牛場 雅己	
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 第11条	関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010(H22.3.16閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定外来生物を防除することにより、生態系等への被害を防止する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	希少種の生息地域や国立公園など我が国の生物多様性保全上特に重要な地域において特定外来生物の防除を行い生態系等への被害を防止するとともに、全国的に分布し被害を発生させている特定外来生物について、各地域の行政機関、民間団体及び地域住民が連携して防除を行えるよう、防除モデル事業により防除技術や実施体制について検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	328	327	349	372	342
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	328	327	349	372	342
	執行額	317	321	340			
	執行率(%)	97%	98%	97%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	本事業は、特定外来生物の防除を各地において実施しているものであり、対象種・対象地域・防除手法・達成目標等がそれぞれ異なることから、これを全体的に評価する指標が存在しないため定量的な成果目標・成果実績を示すことはできない。	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業費による、防除事業の実施箇所数	活動実績(当初見込み)	力所	17	19	17 (17)	— (19)
単位当たりコスト	1力所あたりの防除事業費用平均値 20(百万円/1力所)	算出根拠	本事業費(340百万円)/実施箇所数(17)=20百万円/1力所				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	鳥獣等保護費	372	342	人件費、購入物品等の見直しによる減			
	計	372	342				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>特定外来生物は生態系、人体、農業などに大きな被害をもたらしており、できるだけ早い根絶が必要である。また、放置しておくとならば分布が拡大し、被害が甚大になり、その時点での防除費用も莫大になることから、早期対応が重要であり、優先度が高い事業である。</p> <p>希少な生態系など、全国的な観点から防除を進める優先度の高い地域における防除を実施している。また、広範囲に分布している特定外来生物については、モデル事業を国が実施しており、地方自治体や民間による地方の取組を支援している。これらは、特定外来生物被害防止基本方針に示された国と地方の役割分担に基づくものであり、このうち国が実施すべき事業のみを行っている。高い執行率であり、不用はほとんど発生していない。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>公平性・競争性を担保するため、百万円以上の契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。</p> <p>防除事業による受益者は国民・生態系であり、国費を支出するに足る全国的な観点から重要な生態系について事業を実施しているため、受益者との負担関係は妥当である。</p> <p>費目はほとんどが雑役務費（防除を実施するための計画策定、防除を実施するための人件費等）の他、防除に必要な資材等であり、いずれも効果的な防除事業を実施するために不可欠である。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>防除事業の手法は、対象生物や地域によって異なるため、統一的な雛形は存在しないが、計画的な事業や、過年度の事業成果をフィードバックする等により、実効性の高い手法となるよう努めている。</p> <p>また、モデル事業による経験は取りまとめてマニュアル化し、公開することで、他の事業の参考となるよう、情報提供している。</p> <p>河川におけるオオキンケイギク等の防除は河川管理者である国土交通省が、水産業保全の観点からのオオクチバス等の防除は水産庁が、希少な生態系の保全、全国的な観点からの生態系の保全に係る防除は環境省が実施しており適切な役割分担がなされている。</p>
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>希少種の生息地や世界遺産候補地等、国レベルで生物多様性保全上重要な地域のうち、特に優先度が高い地域等で特定外来生物の防除を実施しているものであり、根絶に向け生息密度が低減しても、いったん捕獲圧を下げてしまえば個体数が回復してしまうことから、事業の継続的な実施が必要。引き続き、事業の進捗状況を随時把握し、これを踏まえた効率的な事業の展開を図る。</p> <p>なお、小笠原諸島については、今後、本年6月の世界遺産登録を踏まえた更なる取組が必要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業内容の精査・見直しを行い、必要最低限の支出となるように検討を進めるべき。</p>		
	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）</p>		
縮減	<p>人件費、購入物品等の見直しにより、概算要求額を減額。</p>		
	<p>補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p>		

※平成22年度実績を記入

環境省
340百万円

【配分】

那覇自然環境事務所
(地方支分部局)
245百万円

【公募・一般競争・随意契約】

A.民間事業者等(7機関)
245百万円

【配分】

九州地方環境事務所
(地方支分部局)
14百万円

【企画競争・一般競争】

B.民間事業者等(2機関)
14百万円

【配分】

中国四国地方環境事務所
(地方支分部局)
10百万円

【随意契約】

C.民間事業者等(2機関)
10百万円

【配分】

近畿地方事務所
(地方支分部局)
11百万円

【総合評価】

D.民間事業者、自治体(2機関)
11百万円

【配分】

中部地方環境事務所
(地方支分部局)
3百万円

【総合評価】

E.復建調査設計株式会社
3百万円

【配分】

関東地方環境事務所
(地方支分部局)
44百万円

【企画競争、公募、随意契約】

F.民間事業者等(4機関)
44百万円

【配分】

東北地方環境事務所
(地方支分部局)

【企画競争、随意契約】

G.民間事業者等(4機関)
8百万円

【配分】

北海道地方環境事務所
(地方支分部局)
1百万円

【随意契約】

H.民間事業者等(10機関)
1百万円

【配分】

釧路自然環境事務所
(地方支分部局)
4百万円

【一般競争、随意契約】

I.民間事業者等(2機関)
4百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

各地域毎に、生態系への被害が著しい特定外来生物について、外来生物法に基づき防除事業を実施し、生態系への被害を軽減させるもの。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.(財)自然環境研究センター			E.復建調査設計株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	奄美大島におけるジャワマンガース防除事業	130	雑役務費	アルゼンチンアリ防除モデル事業(各務原市)	3
雑役務費	沖縄島北部マンガース生息数推定業務	1			
			計		3
			F.(財)自然環境研究センター		
			費目	使途	金額 (百万円)
			雑役務費	小笠原国立公園特定外来生物(グリーンアノール)重点防除業務	39
			雑役務費	特定外来生物防除推進調査(カミツキガメ)業務	5
計		131			
B.(株)地域環境計画					
費目	使途	金額 (百万円)			
雑役務費	九州地方アライグマ防除モデル事業	10			
			計		44
			G.日本工営(株)		
			費目	使途	金額 (百万円)
			雑役務費	東北地方外来種情報データベース作成業務	4
計		10			
C.(株)野生生物保護管理事務所					
費目	使途	金額 (百万円)	計		4
雑役務費	四国地域におけるアライグマ防除モデル事業業務	8			
			H.王子木材緑化(株)		
			費目	使途	金額 (百万円)
			雑役務費	国指定ウトナイ湖鳥獣保護区アライグマ等防除事業業務	1
計		8	計		1
D.いであ(株)			I.(財)日本鳥類保護連名		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	琵琶湖オオクチバス等防除事業調査業務	11	雑役務費	シマフクロウに脅威となるアライグマの捕獲調査業務	3
計		11	計		3

支出先上位10者リスト

A. 那覇自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	奄美大島におけるジャワマングース防除事業	130.0200	参加者確認公募	-
2	(株)南西環境研究所	沖縄島北部地域ジャワマングース等防除事業	58.8735	1	99.6%
3	岩崎産業(株)	奄美大島におけるジャワマングース防除事業特定地域捕獲作業等業務	22.0000	随意契約	-
4	(資)中京銃砲火薬店	筒式イタチ捕獲器(特注改良型)4400個の製作・納入業務	13.8600	1	99.2%
5	(資)中京銃砲火薬店	踏み板式生け捕りトラップ3000個の納入業務(うち1670個分)	7.0140	1	88.9%
6	(資)中京銃砲火薬店	筒式イタチ捕獲器(特注改良型)1000個の納入業務	3.1500	1	92.8%
7	(株)沖縄環境保全研究所	石垣島におけるオオヒキガエル防除事業業務	1.8375	6	55.7%
8	八千代エンジニアリング(株)	沖縄県八重山地域におけるオオヒキガエル等外来生物防除業務(西表島地域)	1.6800	5	75.0%
9	(有)麻里府商事	センサーカメラ修理等	1.3258	随意契約	-
10	(財)自然環境研究センター	沖縄島北部地域マングース生息数推定業務	0.9660	随意契約	-

B. 九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	九州地方アライグマ防除モデル事業	9.9960	企画競争	-
2	新和技術コンサルタント(株)	蘭牟田池オオクチバス等防除モデル事業請負業務	3.1500	1	79.0%

C. 中国四国地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生動物保護管理事務所	四国地域におけるアライグマ防除モデル事業業務	7.9905	随意契約	-
2	(株)ウエスコ岡山	流水域におけるオオクチバス防除モデル事業業務	1.7850	随意契約	-

D. 近畿地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)大阪支社	琵琶湖オオクチバス等防除事業調査業務	10.9725	2	90.5%
2	大阪市	特定外来生物任意放棄等処分	0.0002	随意契約	-

E. 中部地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	復建調査設計株式会社	アルゼンチンアリ防除モデル事業(各務原市)	2.6250	2	65.9%

F. 関東地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	小笠原国立公園特定外来生物(グリーンアノール等)重点防除業務	38.7450	企画競争	-
2	(財)自然環境研究センター	特定外来生物防除推進調査(カミツキガメ)業務	4.7250	参加者確認公募	-
3	株式会社日環他1者(民間団体)	特定外来生物防除等推進事業に必要な物品購入等	0.6454	随意契約	-
4	北総県民センター	カミツキガメ保管冷蔵庫電気料	0.0703	随意契約	-

G. 東北地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本工営(株)	東北地方外来種情報データベース作成業務	3.9270	企画競争	-
2	伊豆沼漁業協同組合	伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(定置網・刺網駆除事業)	3.4145	随意契約	-
3	(財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(稚魚の駆除及びデータ取りまとめ)	0.6090	随意契約	-
4	(株)大仙	オオクチバス駆除用人工産卵床保管施設組立工事	0.1983	随意契約	-
5	日本工営(株)	パンフレット「東北地方の外来生物」(日本語版)印刷	0.1538	随意契約	-
6	日本工営(株)	「東北地方の外来生物」パネル作成	0.0163	随意契約	-

H. 北海道地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	王子木材緑化(株)	国指定ウトナイ湖鳥獣保護区アライグマ等防除事業業務	0.9870	随意契約	-
2	(有)片原商店	ウチダザリガニ防除関連*サンマ・食塩合計	0.0531	随意契約	-
3	(有)麻里府商事	外来生物対策*センサーカメラ	0.0485	随意契約	-
4	(株)北海道クオン	特定外来種(アライグマ)処分設備用*炭酸ガス用圧力調整器	0.0368	随意契約	-
5	(財)結核予防会 北海道 支部 札幌複十字総合健 診センター	蜂の抗体検査	0.0197	随意契約	-
6	旭川市病院	蜂の抗体検査	0.0182	随意契約	-
7	稚内市病院	蜂の抗体検査	0.0126	随意契約	-
8	北幸通産(株)	ウチダザリガニ防除*LPG合計	0.0095	随意契約	-
9	光陽商事(株)	特定外来種(アライグマ)捕獲調査用*V型ベグ ほか	0.0060	随意契約	-
10	北海道エア・ウォーター (株) 苫小牧支店	特定外来種(アライグマ)処分用*炭酸ガス充填料	0.0029	随意契約	-

I. 釧路自然環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本鳥類保護連盟	平成22年度シマフクロウに脅威となるアライグマの捕獲調査業務	3.3036	1	95.7%
2	NPO法人環境把握推進 ネットワークPEG	平成22年度釧路湿原国立公園ウチダザリガニ防除事業	0.9900	随意契約	-